



台湾初！ 江蘇省訪問した台湾ビジネスマンが H7N9 感染死

聯合新聞生活 news.udn.com 2016-01-20 02:46 聯合報 記者黃安琪 / 台北報導

さきごろ台湾のビジネスマンが大陸江蘇省で H7N9 に感染したが、疾病管制署は、昨日家族の連絡を受けたが、このビジネスマンが死亡したことで、この三年間では台湾に來台した第 3 番目の H7N9 感染者、そして死亡例としては初の症例となったと認めた。疾病管制署の周志浩副署長は、患者の症状は重く、後期に重篤な肺炎を併発したが具体的な死因については、もう少し待たねばならないが、江蘇省への渡航警戒レベルを『警告 (Warning)』に引き上げていると指摘した。

周志浩副署長は、「2 週間前にこのビジネスマンの 26 歳の息子が大陸江蘇省から松山空港に戻った際に、H7N9 インフルエンザ患者と接触したこと、また、彼の父親がその患者であることを自ら伝えていた。但しその時点では、息子の検査結果は陰性とされていた。彼の父親は、月初めに感染が確認されており、江蘇省にある病院の ICU で治療を受けているが、江蘇省の鳥類市場での暴露歴があると推測されていた」と語った。

疾病管制署の羅一鈞防疫医師は、「国内の防疫医師が先週江蘇省にこの台湾ビジネスマンを訪ね、病状を知ろうとしたが、病状を回復するには至らなかった。この台湾人ビジネスマンは、H7N9 で死亡した台湾人第 1 号となる。その他に 2 名の患者が出ているがこれらの人たちもビジネスマンだった。台湾帰国後に陽性反応が出ており、治療の後、全快していた」と語る。

疾病管制署によると、大陸では 2015 年秋入り以来、累計 25 名の H7N9 患者が確診されているが、その内訳を見ると、浙江省で 14 名、広東省 3 例、江蘇省 3 例、上海市 2 例、江西省 1 例となっており、多くが 50 歳以上の鳥類への暴露歴がある患者だった；全世界では 2013 年以来、既に累計 702 例となっており、うち大陸では 682 例、死者は全世界で既に 275 人に達しているとのことだ。

羅一鈞防疫医師は、「台湾のビジネスマンは頻回に大陸との往復を繰り返しているが、大陸に行く人々は、必ず手洗いなど個人の衛生措置をきっちりとし、鳥類との接触や活禽市場への出入りを避け、ニワトリやアヒル、ガチョウ、タマゴを食用する際にはよく加熱せねばならない。また、帰国後に発熱や咳などのインフルエンザの症状が出た場合、航空会社の職員や空港の検疫スタッフに対し主体的に告知し、マスクをして速やかに病院にかかること、医師に対しては暴露歴と渡航歴を告げることが必要だ」としている。

<http://udn.com/news/story/7266/1454114-%E9%A6%96%E4%BE%8B%EF%BC%81%E5%8F%B0%E5%95%86%E6%B1%9F%E8%98%87%E6%9F%93H7N9%E6%AD%BB>

..... 以下は中国語原文

首例！台商江蘇染 H7N9 死

聯合新聞生活 news.udn.com 2016-01-20 02:46 聯合報 記者黃安琪 / 台北報導

日前有台商在大陸江蘇感染 H 7 N 9，疾管署昨日接獲家屬通知，證實該名台商身亡，成為近三年來國人第三位感染 H 7 N 9，也是首例死亡個案。疾管署副署長周志浩指出，患者症狀嚴重，後期併發嚴重肺炎，但具體死因仍待釐清，日前已將江蘇旅遊疫情建議提升至「警告」。

周志浩說，兩周前，這位台商的廿六歲兒子自大陸江蘇入境松山機場時，主動通報接觸過 H 7 N 9 流感病患，也就是他的父親，當時台商之子的檢驗結果為陰性。至於他的父親月初確認感染，在江蘇醫院加護病房治療，推估在江蘇省曾有禽鳥市場接觸史。

疾管署防疫醫師羅一鈞表示，國內防疫醫師雖於上周前往江蘇省探望該名台商、了解病況，卻難以挽回病情。這名台商是第一位死於 H 7 N 9 感染的國人，至於其餘兩名病例，也是台商，回台後被發現陽性反應，治療後均已痊癒。

癒。

據疾管署統計顯示，大陸二〇一五年入秋以來，累計確診染H7N9病例廿五例，分別為浙江省十四例、廣東省三例、江蘇省三例、上海市兩例、江西省一例，多為五十歲以上具禽類暴露史患者；全球自二〇一三年以來，也已累計七〇二例，大陸就有六八二例，全球已有二七五人死亡。

羅一鈞表示，台商經常往返兩地，建議民眾前往大陸時，應落實洗手等個人衛生措施，避免接觸禽鳥類與出入活禽市場，食用雞、鴨、鵝及蛋類要熟食，若返國出現發燒、咳嗽等類流感症狀，應主動告知航空公司人員及機場港口檢疫人員，病戴上口罩儘速就醫，告知醫師接觸及旅遊史。

20160120A 台灣初！江蘇省訪問した台湾ビジネスマンがH7N9 感染死(聯合新聞生活)